

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	学習空間を3カ所に分け、利用者の様子によって使い分けています。静かに過ごせる場所の確保が課題です。定員に対するスペースは適切となっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	児発管1名、児童指導員2名、保育士1名、支援員1名を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所内はバリアフリーですが、建物全体ではエレベーターは狭く車いすの使用は困難です。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	学習ミーティング（月1回） 職員会議（月1回） 管理者との面談（年2回）
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29年度から保護者向けアンケートを年1回実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	けやきの杜の法人ホームページにて公開しています。（情報公開タグ）
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	令和2年度は感染症拡大の為、外部研修への派遣は実施出来ませんでした。法人内部研修は年3回実施しました。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	入所時におけるアセスメントは、初回の個別支援計画の課題・目標を立てる際のとても大切な情報となっています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	WISC検査の結果は、学習支援を行う際に非常に参考にしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	月1回のプログラム会議にて立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節に合わせたプログラムを実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は学習中心、休日、長期休暇は学習やSST、遊びに取り組んでいます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	学習やSSTは子どもの状況や理解度を見ながら、個別にするかグループにするか決めています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼にて打合せや連絡事項・役割の確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後のミーティングは行っていません。子どもの様子はケース記録に記入し職員で共有しています。また職員間の連絡ノートを用いて、気付いたことや連絡事項など情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	学習、SST、遊びでの様子を記録し、日々の支援の振り返りにつなげています。また月1回の支援ミーティングにて支援内容の確認、検討を行っています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回モニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。その内容は保護者との面談でお伝えしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	学習支援、SST、ステップアッププログラム(クッキング・外出等)を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	ケース担当の職員が参加し共有しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学習の進め方等について積極的に連絡を取り合っている学校と、必要な時のみ連絡を取る学校とがあります。学校と連携が必要な内容のトラブルの場合は、学校へも連絡しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要な子どもは受け入れていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必要に応じて行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	必要に応じて行っています。相談支援事業所と連携を取り必要な情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	家庭全体への支援が必要な場合等、子ども家庭支援センターと連携し関係機関との情報共有や役割分担を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	地域自立支援協議会の定期的な集まりに参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳、電話連絡、送迎時や個別面談時の情報交換などで共有化を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニング等の支援は行えていません。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行っています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	進路先についての相談を受けることが多いです。学習への取組姿勢や普段の生活の様子を勘案し、アドバイスをさせていただきます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	毎年、年1回の保護者会を開催しています。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	職員間で苦情について共有し対応しています。どうすべきか、なぜそうなったかを検証、検討しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	法人の広報誌は年3回から4回発行しています。その他に毎月の活動予定について月間予定表を配布しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	職員のUSBの使用は禁止しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	感染症拡大の為、法人行事は1年を通じて実施出来ませんでした。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは作成していますが、保護者への周知にまでは至っていません。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月1回、子ども達と一緒に避難訓練を実施しています。月ごとに実施する曜日を変えています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回以上は必ず虐待防止に関する研修機会を設けています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	利用開始の契約の際に保護者への説明を行っています。これまで身体拘束が必要な場面はありませんでしたが、必要になった場合は事前の支援計画に記載することとします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者からの情報・指示内容をもとに対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットは毎月集計し事業所内で共有しています。